

## 第1章 指針策定の目的

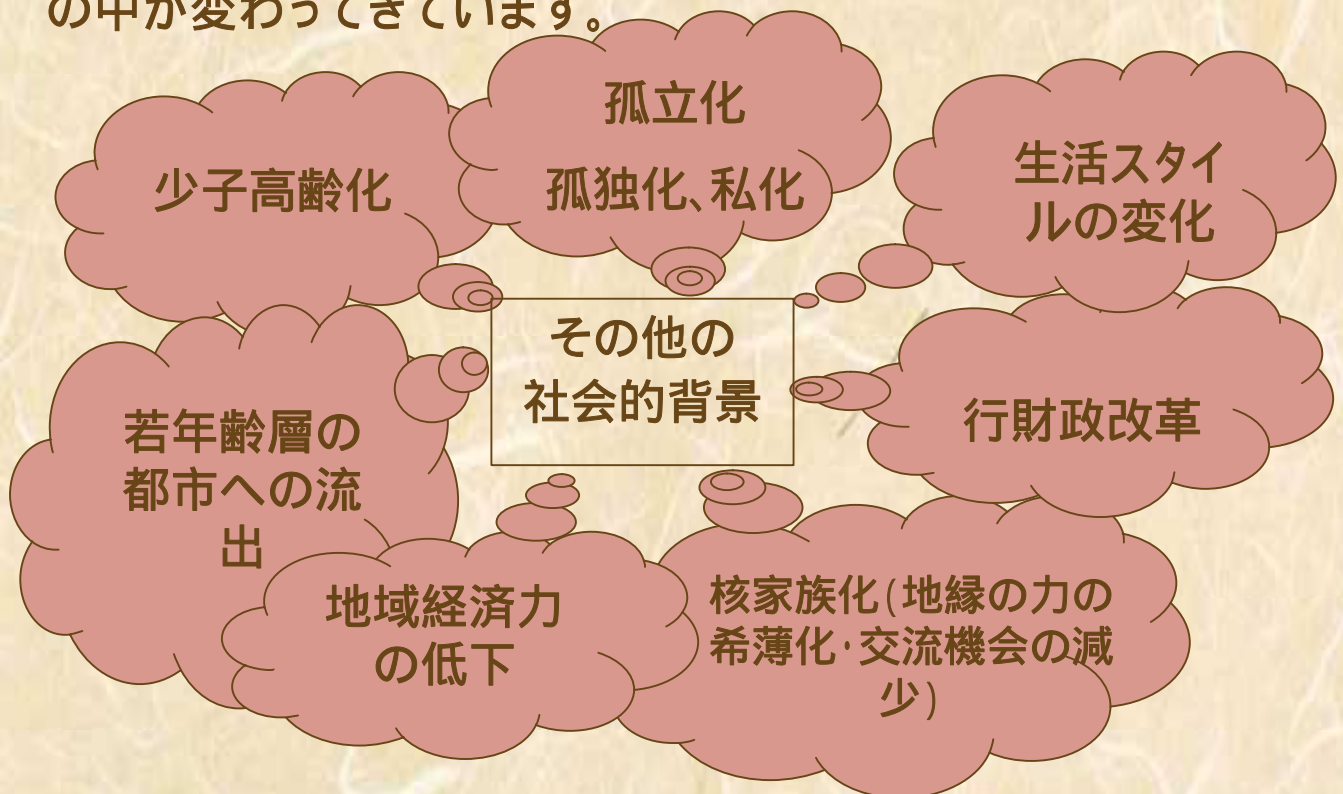
### 社会的背景

何か変わってきていませんか？あなたを取り巻く環境が……

#### 〈地方分権の推進〉

地方分権とは、これまで国が持っていた権限や仕事の一部を、都道府県や市町村に移すことで、国の指示を受けずに、独自の判断で仕事が行えることです。

これらが推進され地方自治の本来の趣旨である住民自治(地域の運営は、その地域住民の意思によって行われるべきという概念です。)の観点から地域の住民が自分たちで決定し(自己決定)、その責任も自分たちが負う(自己責任)というように、世の中が変わってきています。



このような問題が進展し、深刻さを増している現状があります。

## 社会的背景から見えてくるもの

市民が生活する中でたくさんの地域課題に直面し、それらを解決する必要があるため、多くの迅速なサービスが求められています。



しかし、行政は、公平性・平等性を確保する必要があり、対応できない課題も発生しています。  
これらを解決するために



(新たなサービスの展開や業務を担う団体  
また、企業にも求められている社会的貢献)

## 新しい公共

新しい公共を創るために……



## 協働

市民活動団体、市民が行政と共に責任と役割分担を相互に自覚し、対等の関係で共通の目的を達成するために自由な発想のもと活動することが必要です。



市民の皆さん一人ひとりが、できることから行動に移していくことが必要です。



## この指針で使う言葉の意味



### 志縁組織とは……

まちづくりなど志を一つに集まった市民活動団体やNPO組織

### 地縁組織とは……

自治会や婦人会など地域と密接な関わりを持つ身近な団体。これらを総称してCSOと呼びます。

### NPOとは……

利益拡大のためでなく、社会的使命・社会をよくしようとする志を実現するために活動する組織。  
県民協働指針より

### 自治会とは……

同じ地域の居住者により、地域ごとに組織され、生活環境など地域生活向上のため、お互いの理解と信頼の上に立ち連帯と協力によって、運営されているもの。

### ボランティアとは……

自発的に社会活動に参加して、それぞれの目的のための活動を通して、社会・人・自然との関係をよりよくして豊かな暮らしを行なうもの。

### 市民とは……

その地域に住み、コミュニティ活動に参加できる者で、生活する中で自ら地域のことについて活動することのできる主体。

### 企業とは……

主に営利を目的として生産や販売などの経済活動を行う組織体であり、地域社会を構成する一員として市民とともに地域活動を行う主体。

### 新しい公共とは……

「市民みんなにかかわること」は、市と地域社会を構成する幅広い主体が、役割分担を改めて見直し、協働して創り出すもの。

県民協働指針より

### 市とは……

住みやすいまちづくりを行うため求められる住民サービスを提供し、地域課題解決・発展に向けて、それらに基づく各種施策に取り組む主体。

# 協働で創り上げるもの

皆さんは、ご存知ですか？

市民それぞれが今、そして未来に向かってどうあるべきかという小城市の目標が示されていることを……

## 小城市市民憲章

市民の生活目標や、まちづくりの行動目標となるものです。

小城市は、秀峰天山と有明の海、田園に恵まれ、伝統、文化、自然と調和のとれた美しいまちです。

私たちは、小城市民であることに誇りと自覚と責任を持ち、平和を願い、未来へ向かって前進するまちを築くため、この憲章を定めます。

- 豊かな自然を大切に、環境にやさしいまちにします。
- 歴史と伝統を受け継ぎ、教養を高め、文化を創造するまちにします。
- 健やかな心と体をつくり、福祉の充実したまちにします。
- 働くことに喜びと誇りを持ち、活力あるまちにします。
- 思いやりの心を持ち、認め合い笑顔が輝くまちにします。

## 小城市総合計画

自治体の最上位計画であり、行政活動のすべての分野における基本となるものです。

子ども達の育成・成長に関する教育分野や環境、みんなの健康など福祉の分野などの各施策があります。

(目指す将来像)

薫風新都

～みんなでつくる・笑顔あふれる小城市～

(基本目標)

「和」で織りなす美しいまち

